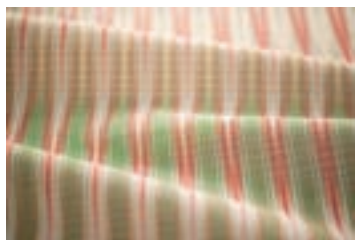


「人間国宝 土屋順紀 紋紗―美濃を織る」

篠田桃紅美術空間では、企画展「人間国宝 土屋順紀 紋紗―美濃を織る」を開催しています。土屋さんは、市内在住の染織家で、2010(平成22)年に、「紋紗」の技法で国の重要無形文化財保持者(人間国宝)に選ばれました。紋紗は、レースのように薄く透き目があり、軽い織物です。土屋さんの紋紗は、縺り織と平織りから生まれる石畳紋様の繊細な織りと、植物染料を生かし、5段階に染め重ねた経糸のぼかしが特徴です。

今展では、1996(平成8)年、日本伝統工芸展で日本工芸会総裁賞を受賞した《生絹着物「鮎の瀬」》(東京国立博物館蔵)、岐阜県美術館所蔵作品《紋紗着物「水の面」》など、代表作品とともに新作の紋紗帯地を含め27点展示しています。



紋紗帯地「秋粧」2011年



紋紗着物「妙音」2010年

す。伝統的な技法に基づきながら、現代の織物として創意工夫を凝らし、新しい表現を模索し続ける土屋さんの世界をお楽しみください。

- 会 期：11月23日(水・祝)まで
- 入館料：高校生以上300円
中学生以下無料
- 休館日：月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間：午前9時～午後4時30分
- 同時開催
「染・織の魅力」紋紗の制作技法を追う「展 午前9時～午後5時 わかくさ・プラザ」学習情報館1階・特別陳列室(観覧無料)
- 照会先：篠田桃紅美術空間
(市役所7階) ☎ 237756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会

vol. 86

書も仕事を持っていて多忙中！

近年、共働きの家庭が増えてきています。女性も男性と同じように仕事を任されることがあります。

妻の帰宅が遅くなった時、夫や子どもたちが食事の準備を手伝ってくれたらどんなに助かることでしょうか。

食事のことばかりではなく、家庭の中の用事は妻だけでなく、家族みんなで助け合っていたらいいと思います。

ある時、外国の男性と話をする機会がありました。家庭での役割について聞いてみると「自分の国では、家庭内の協力は自然体で皆やっているよ」と話されました。

関市の男女共同参画においても、近ごろは男性が協力している姿が多く見られます。お互い自分のできるところで協力し合い、自分らしさを出しながら過ごせるとよいですね。

さんかくサポーター<F>

<照会先> さんかくサポーター事務局(まちづくり推進課内) ☎23-6831

